

各河川における水域類型の指定（素案）について

1. 北上川

(1) 紫波橋より上流域

以下の情報を踏まえると、当該区間については、比較的低温域を好むと考えられる魚介類（以下、「冷水性の魚介類」という。）が生息する水域と考えることには大きな問題はないと考えられる。

- ・ 水温分布： 平均水温 10～12 程度、平均最高水温 20～23 程度と比較的低温で推移
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の確認（ヤマメ、サケ、アユ）
- ・ 漁業協同組合の情報： 冷水性の魚介類の生息の情報（イワナ、ヤマメ、アユ）
- ・ 河床材料及び支川との関係： 本川での再生産が困難、支川では可能との情報
- ・ 関連事項： 比較的高温域を好むと考えられる魚介類（以下、「温水性の魚介類」という。）の生息の確認及び生息の情報あり

(2) 紫波橋より下流域

以下の情報を総合的に勘案すると、紫波橋より下流についても、冷水性の魚介類が生息する水域と考えられる。（ペンディング）

- ・ 水温分布： 平均水温 12～13 程度、平均最高水温 23～25 程度
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の部分的確認（桜木橋、大曲橋、北上大橋、北上大関、北上川河口でアユのみ（平成 12 年度調査）、大曲橋でサケ、南沢川水温（合流点）でニジマス、北上大堰でワカサギ、サケ、アユ、福地水門上流でワカサギ、北上川河口でサケ、アユ（平成 7 年度調査））

補足的事項：

漁業権ではあるが、上流及び下流で設定。冷水性の魚介類（イワナ、ヤマメ、ニジマス、カジカ、アユ、ワカサギ）も含まれる。

- ・ 河床材料及び支川との関係： 本川での再生産が困難、支川では可能との情報
- ・ 関連事項： 温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(3) 四十四田ダム貯水池

以下の点を踏まえ、冷水性の魚介類の生息域と考えられる。

- ・ 水温分布： 上層で、平均水温 12 程度、平均最高水温 23 程度
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の確認（アメマス、ワカサギ）
- ・ ダムの上流及び下流側の生息環境及び状況： 上記（1）
- ・ 関連事項： 比較的高温域を好むと考えられる魚介類（以下、「温水性の魚介類」という。）の生息の確認及び生息の情報あり

(4) 特別域について

特別域については、現時点では当てはめに適当な水域の情報が不足している。

(5) 水域類型の指定について(素案)

全域を生物 A、四十四田ダムは生物 A

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、近年、環境基準値以下を推移しており、増加の傾向も見られないことから、達成期間は、直ちに達成

2. 多摩川

(1) 永田橋より上流

以下の点を踏まえると、冷水性の魚介類の生息範囲と考えることには大きな問題はないと考えられる。ただし、後述するとおり、水温分布は永田橋から拝島橋、拝島橋から日野橋の間での変化が特徴的である。

- ・ 水温分布： 平均水温 11～15 程度、平均最高水温 19～23 程度と比較的低温で推移
- ・ 実地調査結果： 小河内ダムを含め、冷水性の魚介類の生息の確認（ヤマメ、ニジマス、カジカ、アユ）
- ・ 漁業協同組合の情報： 冷水性の魚介類の生息の情報（イワナ、ヤマメ、サクラマス、ニジマス、アユ）
- ・ 関連事項： 温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(2) 永田橋より下流

永田橋より下流については、以下の点を総合的に踏まえると、拝島橋より上流を冷水性の魚介類が生息する水域と考えることに大きな問題はないと考えられる。

また、拝島橋より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当であると考えられる。

- ・ 水温分布： 永田橋～拝島橋及び拝島橋～日野橋の各々で水温分布の傾向が変化。拝島橋付近で、平均水温 15 程度、平均最高水温 26～27 程度。日野橋より下流は、平均水温 18 程度、平均最高水温 27～28 程度。特に拝島橋から下流で規模の大きな下水処理場が立地し都市構造の状況も変化。
- ・ 実地調査結果： 拝島橋より上流は上流域からある程度の連続性をもって冷水性の魚介類の生息が確認。日野橋より下流ではアユ以外の冷水性の魚介類はほとんど確認されず。
- ・ 漁業協同組合の情報： 拝島橋は冷水性の魚介類の生息の情報（ヤマメ、ニジマス、アユ）。日野橋より下流はアユ以外の冷水性の魚介類の生息情報無し。
補足事項： 漁業権においても拝島橋が一つの区切り。
- ・ 水質分布： BOD 等は拝島橋と日野橋の間で傾向が変化。
- ・ 既存の生活環境項目の水域類型指定の区分： 拝島橋
- ・ 関連事項： 温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(3) 奥多摩湖（小河内ダム貯水池）

以下の点を踏まえ、冷水性の魚介類の生息域と考えられる。

- ・ 水温分布： 上層、平均水温 15 程度、平均最高水温 25 強
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の確認（ワカサギ、アマゴ、ヤマメ、イワナ、アユ、ニジマス）

- ・ ダムの上流及び下流側の生息状況（上記（１））
- ・ 関連事項：温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

（４）特別域について

特別域については、当てはめに適当な水域の情報が不足しており、現時点では当てはめ水域を設定することは困難である。ただし、睦月橋上流にてウグイの人工産卵床管理が実施されている点については留意が必要である。

（５）水域類型の指定について（素案）

拝島橋を区分点に、上流側を生物 A、下流側を生物 B、小河内ダムは生物 A
この場合、当該水域の全垂鉛の水質については、近年、環境基準値以下を推移しており、増加の傾向も見られないことから、達成期間は、直ちに達成

3 . 大和川

(1) 初瀬取入口より上流

以下の点を総合的に勘案し、当面、温水性の魚介類の生息域とすることが適当であると考えられる。(ペンディング)

- ・ 水温分布： 平均水温 13～15 程度、平均最高水温 23～25 程度。
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の確認（放流によるアマガゴ、アユ）
- ・ 漁業協同組合の情報： 冷水性の魚介類の情報（放流によるアマガゴ、アユ）
- ・ 支流及び上流の生息環境の広がりが限定的
- ・ 関連事項：温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(2) 初瀬取入口より下流

以下の点を踏まえ、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当であると考えられる。

- ・ 水温分布： 出口橋では平均水温 17 程度、平均最高水温 25 程度。それより下流では平均水温 17～20 弱 程度、平均最高水温 30 程度。
- ・ 実地調査結果： アユ以外の冷水性の魚介類の生息は未確認。
- ・ 関連事項：温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(3) 特別域について

特別域については、現時点では当てはめに適当な水域の情報が不足している。

(4) 水域類型の指定について

全域を生物 B

この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、最近 2 年間は環境基準値以下を推移しており、増加の傾向も見られないことから、達成期間は、直ちに達成

4. 吉野川

(1) ながとろ橋より上流

以下の点を踏まえ、冷水性の魚介類が生息する水域と考えることには大きな問題はないと考えられる。

- ・ 水温分布： 平均水温 13 前後、平均最高水温 19～21 程度と比較的低温で推移
- ・ 漁業協同組合の情報： 冷水性の魚介類の生息の確認(アマゴ、カジカ、アユ)
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の情報(ダム以外の調査点は不足(サツキマス、アユ、ワカサギ))
- ・ 関連事項： 温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(2) ながとろ橋より下流

ながとろ橋より下流については、以下の点を総合的に勘案して、大川橋より上流を冷水性の魚介類が生息する水域と考えることとする。

また、大川橋より下流は、冷水性の魚介類が生息することは困難な水域として、温水性の魚介類の生息する水域に区分することが適当であると考えられる。

- ・ 水温分布： 大川橋では、平均水温 15 程度、平均最高水温が 24 程度。その下流側の調査地点(脇町潜水橋)より下流では、平均水温 17～18、平均最高水温が 26～28 で、比較的水温が高い傾向。
- ・ 実地調査結果： 池田ダム St.5 調査点では、冷水性の魚介類の生息が確認(アマゴ、アユ)。それより下流ではアユ以外は未確認。
- ・ 漁業協同組合の情報： 一部には冷水性の魚介類の生息の情報(アマゴ、アユ)。
関連情報： 有識者によれば、大まかにみて池田ダムより下流はアマゴの生息に適さず。
- ・ 現在の生活環境項目の水域類型の区分： 大川橋
- ・ 関連事項： 温水性の魚介類の生息の確認及び生息の情報あり

(3) 早明浦ダム貯水池

以下の点を踏まえ、冷水性の魚介類の生息域と考えられる。

- ・ 水温分布： 平均水温 16、平均最高水温 24
- ・ 実地調査結果： 冷水性の魚介類の生息の確認(サツキマス、ワカサギ、アユ)
- ・ ダムの上流及び下流側の生息状況(上記(1))

(4) 特別域について

特別域については、現時点では当てはめに適当な水域の情報が不足している。

(5) 水域類型の指定について

大川橋を区分点に、上流を生物 A、下流を生物 B、早明浦ダム貯水池は生物 A
この場合、当該水域の全亜鉛の水質については、近年は環境基準値以下を推移
しており、増加の傾向も見られないことから、達成期間は、直ちに達成

(6) 留意事項

田宮はその他の調査地点と比べて水生生物の生息状況に若干の傾向の違いが見
られ、海域の影響も受けていることも一因と推測される。このため、当該河川の
感潮域については主に海域に生息する水生生物の生息状況についても留意するこ
とが重要である。

(参考)水温分布の特徴に関するイメージ図

| 水温 () | 0 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 |
|--------------|---|---|----|----|----|----|----|----|
| 北 紫波橋より上流 | | | ■ | ■ | | > | > | |
| 上 朝日橋より下流 | | | ■ | ■ | | > | > | |
| 川 四十四田ダム(上層) | | | ■ | | | > | | |
| 多 永田橋より上流 | | | ■ | ■ | ■ | > | > | |
| 摩 拝島橋 | | | | ■ | | | > | > |
| 川 日野橋より下流 | | | | | ■ | | > | > |
| 奥多摩湖(上層) | | | | ■ | | | > | ・ |
| 大 初瀬取入口より上流 | | | ■ | ■ | | > | > | |
| 和 出口橋 | | | | | ■ | | > | |
| 川 上吐田橋より下流 | | | | | ■ | ■ | | > |
| 吉 ながとろ橋より上流 | | | ■ | ■ | | > | > | |
| 野 大川橋 | | | | ■ | | | > | |
| 川 脇町潜水橋より下流 | | | | | ■ | | > | > |
| 早明浦ダム(上層) | | | | ■ | | | > | |

凡例 :平均水温
> :平均最高水温

(参考)水生生物の生息状況の概略

1. 北上川

| 既存類型 | 名称 | 基準点 | 実地調査地点 | 漁協回答地点 | 漁業権区分点概要 |
|--------|-----------|-----|--------|--------|----------|
| 北上川(1) | 岩崎橋 | | | | |
| | 芋田橋 | | | | |
| 北上川(2) | 松川合流点 | | | | |
| | 船田橋 | | | | |
| | 四十四田ダム | | | | |
| | 四十四田橋 | | | | |
| | 開運橋 | | | | |
| 北上川(3) | 南大橋 | | | | |
| | 紫波橋 | | | | |
| | 朝日橋 | | | | |
| | 昭和橋 | | | | |
| | 珊瑚橋 | | | | |
| | 和賀川合流点 | | | | |
| 北上川(4) | 金ヶ崎橋 | | | | |
| | 桜木橋 | | | | |
| | 藤橋 | | | | |
| | 大曲橋 | | | | |
| | 千歳橋 | | | | |
| | 北上川橋 | | | | |
| | 北上大橋 | | | | |
| | (岩手・宮城県境) | | | | |
| | 錦桜橋 | | | | |
| | 登米大橋 | | | | |
| | 分流地点 | | | | |
| | 山田 | | | | |
| | 北上大堰 | | | | |
| | 飯野川大橋 | | | | |
| | 横川排水機場 | | | | |
| 北上川河口 | | | | | |

(表注) 実地調査地点、漁協回答地点の各欄の記号について
 は冷水性の魚介類が2種類以上確認
 は冷水性の魚介類が1種類の未確認
 は温水性の魚介類のみ確認
 (以下の表についても同様)

2. 多摩川

| 類型 | 名称 | 基準点 | 実地調査地点 | 漁協回答地点 | 漁業権区分点概要 | その他 |
|----|-----------------|-----|--------|--------|----------|-----|
| | 下保之瀬橋 | | | | | |
| | 小河内ダム前定点 | | | | (ダム上下端) | |
| | 笹平橋 | | | | | |
| | 昭和橋 | | | | | |
| | 川井堰上 | | | | | |
| | 和田橋 | | | | | |
| | 万年橋 | | | | | |
| | 柳淵橋 | | | | | |
| | 調布橋 | | | | | |
| | 多摩川橋 | | | | | |
| | 小作堰下 | | | | | |
| | 羽村市宮ノ下運動公園付近 | | | | | |
| | 羽村堰(上) | | | | | |
| | 永田橋 | | | | | |
| | 昭和用水堰下 | | | | | |
| | 拝島原水補給点 | | | | | |
| | 拝島橋 | | | | | |
| | 日野用水堰下 | | | | | |
| | 多摩大橋 | | | | | |
| | 日野橋 | | | | | |
| | 日野市多摩川総合グラウンド付近 | | | | | |
| | 浅川合流点 | | | | | |
| | 関戸橋 | | | | | |
| | 大丸用水堰下 | | | | | |
| | 是政橋 | | | | | |
| | 多摩川原橋 | | | | | |
| | 上河原堰下 | | | | | |
| | 多摩水道橋 | | | | | |
| | 宿河原堰下 | | | | | |
| | 砧下取水点 | | | | | |
| | 新二子橋 | | | | | |
| | 二子橋 | | | | | |
| | 第三京浜多摩川橋 | | | | | |
| | (赤岩) | | | | | |
| | 大田区田園調布緑地 | | | | | |
| | 田園調布堰(調布取水堰)上 | | | | | |
| | 調布取水堰下 | | | | | |
| | 調布取水点 | | | | | |
| | (調布取水点と河口の間) | | | | (2カ所) | |
| | 多摩川大橋 | | | | | |
| | 六郷橋 | | | | | |
| | 京急鉄橋下水路 | | | | | |
| | 六郷橋緑地～大師橋緑地先 | | | | | |
| | 大師橋 | | | | | |
| | 河口 | | | | | |
| | 大田区羽田空港脇 | | | | | |

東京都水産試験場
調査(1973-74)で冷
水性の魚介類の確認
された地点を記載

3. 大和川

| 類型 | 名称 | 基準点 | 実地調査地点 | 漁協回答地点 | 漁業権区分点概要 |
|----|---------------|-----|--------|--------|----------|
| | 和田(まほろば湖上) | | | | |
| | (まほろば湖下流端) | | | | |
| | 初瀬取入口(まほろば湖下) | | | | |
| | 慈恩寺式島橋 | | | | |
| | 出口橋 | | | | |
| | (出口橋と上吐田の間) | | | | |
| | 上吐田 | | | | |
| | 太子橋 | | | | |
| | 御幸大橋 | | | | |
| | 大正橋 | | | | |
| | 藤井 | | | | |
| | 亀の瀬橋 | | | | |
| | 国豊橋 | | | | |
| | 河内橋 | | | | |
| | 明治橋 | | | | |
| | 浅香新取水口 | | | | |
| | JR阪和線鉄橋 | | | | |
| | 浅香山 | | | | |
| | 遠里小野橋 | | | | |
| | 阪堺大橋 | | | | |

4. 吉野川

| 類型 | 名称 | 基準点 | 実地調査地点 | 漁協回答地点 | 漁業権区分点概要 | |
|-------|--------------|-----|--------|--------|----------|------|
| | 長沢ダム | | | | | |
| | 大橋ダム | | | | | |
| | 川崎橋 | | | | | |
| | 早明浦ダムSt.ダム湖3 | | | | | |
| | 早明浦ダムSt.ダム湖2 | | | | | |
| | 上吉野川橋 | | | | | |
| | 本山沈下橋 | | | | | |
| | 山崎ダム | | | | | |
| | ながとろ橋 | | | | | |
| | (高知県徳島県堺) | | | | | |
| 大川橋 | | | | | | |
| | 池田ダム貯水池St.5 | | | | | |
| | 池田ダム貯水池St.2 | | | | | |
| | 三好大橋 | | | | | |
| | 青石橋 | | | | | |
| | 脇町潜水橋 | | | | | |
| | 穴吹橋 | | | | | |
| | 阿波麻植大橋 | | | | | |
| | 高瀬橋 | | | | | |
| | (高瀬橋と田宮の間) | | | | | (4力) |
| | 田宮 | | | | | |
| 吉野川大橋 | | | | | | |